

1. 木質バイオマス関連情報

■ラブ・フォレスト（株）（長野）、9 月 16 日に同社が開発した移動式中型チップ Heizohack HM8-400VM を群馬県神流町に納入。チップの投入口は縦 400mm、横 670mm、重量 7t（脱着フレーム込）、エンジンは CAT 製水冷ディーゼルで 225 馬力。チップは林野庁の技術開発・実証事業「平成 30 年度林業成長産業化総合対策補助金のうち木材需要の創出・輸出力強化対策のうち地域内エコシステム構築事業」補助を受けて開発し、2019 年度に商品化した第 1 号。ベースとなる車両は増トン車（8 トン車）だが、チップも、同日納品した丸太を割る装置 Westtech Woodcracker L920 も脱着式になっており、地面に据え置いて利用することも可能。詳細は同社サイト、ブログを参照【OSR No.436：2020/09/23、ラブ・フォレスト（株）：2020/09/22】

<http://www.labforest.jp/>

■丸紅（株）（東京）と中部電力（株）（愛知）、特別目的会社「ぎふ西濃グリーンパワー合同会社」（東京、以下「事業会社」）を設立し、岐阜県に「ごうどバイオマス発電所」を建設すると発表（9 月 25 日）。同事業会社へは丸紅（100%子会社の丸紅クリーンパワー（株）を通じて出資）と中部電力、それぞれが 50%ずつ出資。また同日、事業会社が神戸町と公害防止協定を締結するとともに、（株）大垣共立銀行（岐阜）および（株）十六銀行（岐阜）と融資契約を締結。同発電事業は、岐阜県安八郡神戸町にある帝人（株）（大阪）揖斐川事業所敷地内において、主に岐阜県内産の未利用間伐材等を燃料（木質チップ）とし、発電出力 7,500kW の木質専焼バイオマス発電所を建設、運営するもの。想定年間発電電力量は約 5,300 万 kWh で一般家庭約 1.7 万世帯分に相当。2021 年 10 月に工事を開始し、2023 年 3 月運転開始予定【中部電力（株）：2020/09/25】

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1202087_3273.html

■経産省、9 月 29 日に第 61 回 調達価格等算定委員会をオンラインで開催。「国内外の再生可能エネルギーの現状と今年度

の調達価格等算定委員会の論点案について」が議題。6 月に FIT 制度の抜本見直しをふまえた「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」（再エネ特措法）の改正を含む「強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」（エネルギー供給強靱化法）が成立。これにより、FIT 制度に加え、2022 年 4 月から FIP 制度が創設される。これに備え、検討するために事務局が今年度の委員会での主な論点（案）を電源毎に提示。バイオマス発電に関しては、2021 年度は一般木材等バイオマス発電・バイオマス液体燃料の入札に関する事項と、バイオマス持続可能性 WG での専門的・技術的な議論をふまえた新規燃料の取扱い等について。2022 年度以降については「少なくとも 2022 年度は地域活用電源となりうる可能性があるバイオマス発電の規模は 10,000kW 未満」となっており、電源特性もふまえながら地域活用要件について具体化するとともに自家消費型の要件について検討し、さらに 2022 年度に FIP 制度の対象となる区分等について一定の目安などを示していくべきとしている【経産省：2020/09/29】

<https://www.meti.go.jp/shingikai/santeii/061.html>

■林野庁、令和 3 年度予算概算要求の概要を公表（9 月 30 日）。概算要求額の合計は 3,482 億 8,400 万円で、対前年度比 115.9%。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2020/09/30】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R3gaisan.html>

■林野庁、2019 年の木材需給に関するデータを集約・整理した「木材需給表」を取りまとめ、公表。木材の総需要量は 8,190 万 5 千 m³ となり、前年比 57 万 3 千 m³（0.7%）減少。供給面では国内生産量は 3,098 万 8 千 m³ で前年比 78 万 7 千 m³（2.6%）増加となり、10 年連続で増加。輸入量は 5,091 万 7 千 m³ で前年比 136 万 m³（2.6%）減少。2019 年の木材自給率は 37.8% となり、前年比 1.2 ポイント上昇し、9 年連続で上昇している。燃料材は、需要と供給（国内生産量、輸入量共）の両方において増加【林野庁：2020/09/30】

https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/200930_30.html

■山口県周南市の総合化学メーカー（株）トクヤマが9月30日、市内で伐採した竹を徳山動物園（同市）のスリランカゾウにプレゼント。竹チップを使ったバイオマス発電の実証実験を進める同社が、竹害として社会問題化している周南市に提案し、企画。この日は同社の社員30名が市内の金剛山公園内で竹林の伐採作業に当たり、約1時間で3t余りの竹を切り出した。その一部が動物園に寄贈され、竹が大好物のスリランカゾウのナマリーが新鮮な竹をおいしそうに食べた。伐採した竹は同社発電所のバイオマス燃料として活用するため、三輝トラスト（株）（山口）でチップ状にした後、10月中旬の燃焼試験で利用する予定。同社所長は「竹の燃焼にはたくさんの技術的課題があるが、最後まで粘り強く挑戦し、竹バイオマス燃料の実証化に挑戦していきたい」と意気込む【周南経済新聞：2020/10/01】

<https://shunan.keizai.biz/headline/920/>

■（株）ログ（群馬）、群馬県内でバイオマス発電施設の整備を計画。事業名称は「（仮称）バイオパワーおおた整備事業」。事業予定地は同社の本社および工場がある太田市が新たに造成したおおた渡良瀬産業団地内。発電規模は約20MW。木質燃料（一般木材）やフラフ燃料を使用し、発電した電力はFITを通じて売電する計画。同事業に係る環境影響評価方法書は、10月1日～31日まで同社サイトから縦覧可。意見書の提出は11月14日（土）まで受付【群馬県、（株）ログ：2020/10/01】

https://www.pref.gunma.jp/04/e01g_00166.html

<http://www.log-recycle.com/>

■（株）タケエイ（東京）子会社の（株）大仙バイオマスエナジー（秋田県大仙市。以下「大仙BE」）らが、大仙BE協和発電所最寄りの落合バス停留所を改築し、大仙市に寄贈。社員をはじめ、地元住民や小中学生が通勤通学に利用しているが、冬場の積雪等の影響もあり老朽化が進んでいたことから、地元への御礼と地域コミュニティの場の一つを提供する機会として実施。発電所へのチップ供給元で大仙BE株主である（株）門脇木材（秋田）には建材となる秋田杉の提供、発電所建設に携わった（株）瀧神巧業（秋田）には建築作業、そして費用は大仙BEがタケエイSDGs推進財団から一部寄付

を受けて負担。停留所は発電所のタービンを冷却する際に発生する余熱を有効利用した床暖房も備えている【（株）タケエイ：2020/10/01】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/2151/tdnet/1887041/00.pdf>

■鈴与シンワート（株）（東京）、自社が運営するデータセンター「S-Port 東京第一センター」および本社の照明に使用する電力を対象に「グリーン電力証書」の購入に関する契約を日本自然エネルギー（株）（東京）と締結。日本自然エネルギーは、グリーン電力証書発行业者の一つ。風力、太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギーの「グリーン電力証書」を契約事業者に発行している。鈴与シンワートはこれにより、センターおよび本社の照明に使用する年間使用電力（約40万kWh）の100%グリーン電力化を実現。契約金額は非公表、10月1日から契約開始【鈴与シンワート（株）：2020/10/02】

<https://www.shinwart.co.jp/press/doc/20201001.html>

■（一社）アグリデザイン研究所（東京）、9月17日に「withコロナ期における食料とエネルギーの同時的生産とカーボンマイナスへの道筋」をテーマとする「第1回 資源作物によるカーボンマイナスシンポジウム2020」を東京・銀座にて開催。シンポジウムでは新規作物「エリアンサス」のカーボンマイナス効果やそれを地域でどう活用できるかなどをテーマに、有識者と聴講者の間で活発な意見交換が行われた。ホームページで各講師の講演概要を報告するとともに、シンポジウムの様子を収めた動画を無料配信中【（一社）アグリデザイン研究所：2020/10/04】

<https://www.agri-design.or.jp/posts/10577781>

■NEDO、バイオジェット燃料の普及を推進する研究開発6件を始動。国際民間航空機関（ICAO）をはじめとした航空業界はCO₂排出量を削減する地球温暖化抑止対策を喫緊の課題と捉えており、バイオジェット燃料の導入は実現可能性が高い手段の一つと位置づけられている。NEDOは2017年度から「バイオジェット燃料生産技術開発事業／一貫製造プロセスに関するパイロットスケール試験」を実施しており、2030年頃の商用化を念頭にバイオジェット燃料を一貫製造する技術の確立を目指している。これらの取り組みを商用化へとつなげるため、今回、バイオジェット燃料の市場形成に向けたサ

サプライチェーンの構築を促進する 2 件の研究開発テーマと、微細藻類の大量培養技術の確立によりカーボンリサイクルなど脱炭素社会の形成を促進する 3 件の研究開発テーマ、および微細藻類研究につながる拠点を整備し研究開発を実施する 1 件の研究開発テーマを採択【NEDO：2020/10/05】

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101363.html

■三井物産（株）（東京）、CO₂ 排出量取引の仲介開始へ。国が認証する J-クレジット制度を活用し、グループ会社の甲南ユーティリティ（株）（兵庫）で導入したバイオマス発電設備による排出削減・吸収量を 7 月にクレジットとして設定。甲南ユーティリティのバイオマス発電所は、神戸東部第 4 工区食品コンビナート内企業からの排水処理汚泥を乾燥してバイオマス燃料化させ、蒸気生産用のボイラで木質チップとともに燃料として利用し、コンビナート内企業に産業用蒸気を供給する循環利用を行っている。三井物産は 2018 年 10 月 4 日に甲南ユーティリティの設備の J-クレジット制度への登録を完了。2020 年春から 8 年間にわたり創出される予定の J-クレジット（想定創出量 36,120t-CO₂/年）を、プロジェクト実施者である甲南ユーティリティから全量引き取るようになっていた。このグループ企業間で排出枠を取引したノウハウを活用し、ESG（環境・社会・企業統治）対応で高まる排出量取引の需要を取りこむ【日本経済新聞：2020/10/06、三井物産（株）：2018/10/12、兵庫県：2020/03/19】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO64630690V01C20A0TJ1000/?ct=ga>

https://www.mitsui.com/jp/ja/topics/2018/1227388_11233.html

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/ecotouroku81.html>

■再生可能エネルギー由来の電力を提供するサービスを行っている小売電気事業者のゼロワットパワー（株）（千葉）、東京都庁舎へ再生可能エネルギー100%の電力を 10 月 1 日より供給開始。東京都が入札を実施した「東京都庁舎で使用する再生可能エネルギー電気の需給（単価契約）」を落札し、電気需給契約を締結。契約電力は 6,500kW、予定使用電力量は 34,302,000kWh。供給期間は 10 月 1 日～2021 年 11 月 30 日まで【ゼロワットパワー(株)：2020/10/06、新電力ネット】

https://zerowattpower.co.jp/assets/uploads/pdf/pdf_20201006184710.pdf

<https://pps-net.org/tender/82657>

■枕崎バイオマスエナジー合同会社（鹿児島県枕崎市、以下「エナジー社」）および枕崎バイオマスリソース合同会社（同、以下「リソース社」）、同市仁田浦町に建設した「枕崎バイオマス発電所」の開所式を実施（10 月 9 日）。エナジー社は日本コムシス（株）（東京）が 100%出資し、リソース社はチップ製造業の前田産業（株）（鹿児島）とエナジー社が共同出資して設立。発電所は主に鹿児島県産の針葉樹の未利用材、中でもパークを燃料に使うのが特徴で、リソース社が敷地内で燃料の加工を担う。燃料使用量はパーク約 2 万 t/年、木質チップ約 1 万 t/年。発電規模は 1,990kW。24 時間発電で年間発電量は一般家庭 4,000 世帯分に相当。全量を FIT を通じて九州電力（株）（福岡）に売電する。（株）よしみね（大阪）製のストーカー方式ボイラを採用。建設費は発電施設が約 25 億円、燃料加工施設が約 7 億円。発電所はエナジー社が運営し、10 月 1 日から既に本格稼働【南日本新聞：

2020/10/11 枕崎バイオマスエナジー合同会社：

2020/10/09、週刊循環経済新聞：2020/10/05】

https://373news.com/_news/?storyid=126957

<http://www.m-be.co.jp/news.html>

<https://www.nippo.co.jp/jk/>

■花王（株）（東京）、インドネシアにおけるパーム油輸出企業最大手のひとつ「アピカルグループ」およびインドネシア最大のパーム油生産者のひとつである「アジアナグリ」の 3 社で、パーム油の持続可能なサプライチェーンの構築をめざし、インドネシアの小規模パーム農園の生産性向上、持続可能なパーム油に対する認証の取得を支援するプログラム

「SMILE」（SMallholder Inclusion for better Livelihood & Empowerment program）を開始。3 社は環境や社会に配慮したサプライチェーンの構築を実現するために、RSPO での活動や、農園までのトレーサビリティの確保といった取り組みを進めているが、インドネシアでパーム果実の生産量の約 30% を占める小規模パーム農園では、生産技術に関する情報不足による低い生産性に加え、貧困や劣悪な生活環境等様々な課題を抱えている。3 社はこうした課題の解決に向けて、支援対象となる小規模パーム農園に対し経験豊富な農園管理・技術指導グループを編成。農園を訪問し、(1) 持続可能性に配慮した生産管理方法と生産性向上に向けた教育、(2) RSPO 認証取

得に向けた支援、(3) 安全な作業方法に関する教育と、ヘルメット・手袋といった安全対策器具の支給や消火器の設置等を実施する。2020 年～2030 年の 11 年間、インドネシア北スマトラ州・リアウ州・ジャンピ州において、小規模パーム農園約 5,000 件を目標に実施【花王（株）：2020/10/14】

<https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2020/20201014-001/>

■「21 世紀のエネルギーを考える会・みえ」（三重）が 10 月 16 日に第 9 回「エネルギーを考える社会見学・多気」を開催。三重県内から応募した 18 人が参加し、多気町にある中部プラントサービスの木質バイオマス発電所「多気バイオパワー」を見学。燃料の木材チップの受け入れと貯蔵の設備やボイラ、発電設備を見てバイオマス発電の仕組みを学んだ【伊勢新聞：2020/10/17】

<https://www.isenp.co.jp/2020/10/17/51320/>

■ソヤノウッドパワー（株）（長野）が長野県塩尻市で建設を進めていた「ソヤノウッドパワー発電所」が完成し、10 月 15 日から営業運転開始。ソヤノウッドパワーは、征矢野建材（株）（長野）、九電みらいエナジー（株）（福岡）、（株）九電工（福岡）、北野建設（株）（長野）、（一社）グリーンファイナンス推進機構（東京）、八十二キャピタル（株）（長野）が共同出資して 2014 年 3 月に設立。木材加工施設と木質バイオマス発電所を整備し、木材の新たな需要創出と循環型社会の形成を目指す取り組みで、産学官が連携して進めている「信州 F・POWER プロジェクト」の一環として発電所を建設していた。発電所の出力は 14,500kW で木質バイオマス発電所としては長野県内最大規模。約 14 万 t/年の木質バイオマス燃料を利用し、一般家庭約 3 万 2000 世帯分の年間使用電力量に相当する約 9,500 万 kWh を発電する計画。燃料は主に長野県内の山林からの未利用材、木材加工施設から発生する製材端材。発電した電力は FIT に基づき中部電力ミライズ（株）（愛知）に売電する【九電みらいエナジー（株）：

2020/10/15、スマートジャパン：2020/10/22】

<https://www.q-mirai.co.jp/news/archives/232>

<https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/2010/22/news061.html>

■佐賀県佐賀市、バイオマス関連事業で市清掃工場の排ガスから回収する CO₂ に関し、民間企業が液化しドライアイスにして販売する事業に取り組むことが「理想的なモデル」であるとして市議会バイオマス産業都市調査特別委員会で説明。回収した CO₂ が光合成に使用されず夜間に放出されていたことなどから、液化し、ボンベに詰めて販売する事業を検討するよう議会から意見が出ていたが、液化事業だけでは採算を取るのが難しく、ドライアイスの製造販売に取り組めば収益を確保できるとしている。委員会終了後、市はドライアイス扱う複数の企業と協議中であると説明し「法的規制があり、関係省庁との協議が必要になる。対応が難しければ構造改革特区の活用も含めて検討する」と述べた。事業の実施場所やスケジュールは未定【佐賀新聞 LIVE：2020/10/15】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/587348>

■愛知県豊橋市、JFE エンジニアリング（株）（東京）、豊橋信用金庫（愛知）の三者で、「豊橋市地域新電力事業に関する連携協定」を締結（10 月 14 日）。10 月 19 日には官民連携による地域新電力会社「穂の国とよはし電力（株）」（愛知）を設立。出資比率は JFE エンジ 61.6%、豊橋市 33.4%、豊橋信用金庫 5%。2021 年 2 月より電力小売事業を開始する予定。JFE エンジは PFI（民間資金を活用した社会資本整備）事業として、2017 年から生ごみやし尿を発酵処理して生じるガスを燃料にする豊橋市バイオマス利活用センターを豊橋市で運営している。新電力は同発電所を主力電源とし、市の太陽光発電設備などを合わせて約 1,000 万 kWh/年供給する。主な電力供給先として挙げられているのは、市役所本庁舎、小中学校、豊橋総合動植物公園。JFE エンジ等の試算によると、約 5,500t/年の CO₂ 削減につながるという。市は 2030 年までに公共施設で使う電力の半分を再生エネでまかなう目標を掲げる。将来的には、民間が運営する発電所（FIT）の電気や住宅用卒 FIT 電気の買取を通じた地産再エネ電力の調達拡大、公共施設への自家消費型太陽光設置による創エネ事業等の展開を検討していく【JFE エンジニアリング（株）、日本経済新聞：2020/10/14】

<https://www.jfe-eng.co.jp/news/2020/20201014.html>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ064984980U0A011C2L91000/>

■三菱パワー（株）（神奈川）、インドネシアの火力発電所等におけるバイオマス燃料の混焼普及に向けた政策提言について、同国の国営電力会社である PT. PLN (Persero) (PLN 社) および関連子会社である PT. Indonesia Power、PT Pembangunan Jawa-Bali ならびに国立バンドン工科大学 (ITB) と産学共同で策定することを合意し、このほど覚書 (MOU) に調印。今回の共同政策提言ではインドネシアに存在する豊富なバイオマス資源の有効利用に向け、多数の火力発電所を運営する PLN グループの協力を得て、適切なバイオマス燃料の選定および燃焼評価、ならびに設備改造検討や経済性評価などを中心に行う。具体的には、MOU を受けて三菱パワーの国内研究での技術検討試験結果や ITB が中心となって進める同国内における政策分析および市場調査結果などに基づき、最適なバイオマス燃料や PLN グループが運営する発電所等からのパイロット施設選定を含め、同国におけるバイオマス混焼普及のロードマップを策定。2021 年 9 月末をめどに技術から法整備・補助制度等にわたる政策を提言し、同国内普及への支援およびパイロットプロジェクト実現に向け活動していくとしている【三菱パワー（株）：2020/10/15】

<https://power.mhi.com/jp/news/20201015.html>

■福島県南会津町の南会津森林資源（株）（福島）が、同町の木材チップ製造・販売などを手掛ける（株）アラカイの敷地内に整備していた木質バイオマス発電専用の燃料チップ製造工場が完成。10 月 8 日に完成を祝うオープニングセレモニーを実施。南会津森林資源は、木材加工などの（株）ウエステック（福島）と（有）会津管材（福島）、アラカイの共同出資により 2019 年 12 月設立。森林資源の有効活用や、温泉施設などで燃料チップの需要が増えていることから新工場を建造した。同社によると、燃料チップの生産量は従来の約 10 倍となる 25,000～30,000t/年を見込んでおり、会津地方をはじめ、栃木県や山形県など近県への出荷も視野に入れている。新工場は鉄骨平屋で延べ床面積 500 ㎡。最新の木材切削機を導入。工場は今月中に本格稼働する予定【福島民友新聞：2020/10/17】

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20201017-547618.php>

■ベルギーのキシロワット（Xylowatt）社、画期的なガス化システム「NOTAR ガス化炉」を開発。これまでバイオマスから

生成されたガスにはタール含有量が多すぎて、そのままではコジェネ燃料としても、化石燃料に代わる工業用ガスとして用いることができなかったが、同社がタール含有ほぼゼロの低温合成ガスを生成する製品を開発。同社はルーヴァン・カトリック大学（仏語校）理工学研究室からスピノフした企業。NOTAR ガス化炉は中規模（合計エネルギー生産量 2,000kWh 以下）で、バイオマスの大規模製造流通ルートが整っていない日本では中型設備が最適であることや、生成過程でガスの温度を下げるため、セシウムが凝固してほとんどが炉底の灰に集積。飛散した灰に含まれるセシウムも減温過程のフィルターで捕捉でき、福島の放射能汚染された廃材や伐採木材などの処理にも適していると見込まれていることから、日本には大きな需要があると期待している【alterna：2020/10/19】

<http://www.alterna.co.jp/32599>

■みんなの株式と株探が集計する「人気テーマランキング」で「再生可能エネルギー」関連が 15 位に。11 月 3 日の米大統領選挙の民主党・バイデン候補は環境政策を目玉としており、パリ協定への復帰とともにクリーンエネルギー関連に 2 兆ドル（約 210 兆円）を投資する計画を明らかにしている。バイデン氏が大統領選に勝利した場合、再生可能エネルギーが見直されることは必至。太陽光やバイオマス発電を手掛ける（株）レノバ（東京）や国内最大級のバイオマス発電所を運営するイーレックス（株）（東京）等の株が注目されると予想【Kabutan：2020/10/19】

<https://kabutan.jp/news/marketnews/?b=n202010190451>

■イーレックス（株）（東京）、同社シンガポール法人とパームのプランテーションを有するインドネシア企業のダルマ・エネルギー・インベストマ（DEI）が、合併会社を設立したと発表（10 月 19 日）。合併会社名はダルマ・スンプル・エネルギー（DSE）で、10 月 8 日合併契約に調印。資本金は 100 万ドル。出資比率はイーレックスが 33%、DEI が 67%。イーレックスは国内 4 カ所のバイオマス発電所を運営し、来年には沖縄県での開業も予定。さらには、Non-FIT の大型バイオマス発電所の開発等も行っている。燃料である PKS の大部分をインドネシアをはじめとした、東南アジア諸国連合（ASEAN）から輸入している。DSE はカリマンタン島に PKS の集荷ストックパイルを設置し、長期的、安定的な経済性を確保し燃料

事業の拡充を進める。来年9月からイーレックス向けに PKS
の出荷を開始。7万t/年出荷する計画【イーレックス：
2020/10/19、じゃかるた新聞：2020/10/20】
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9517/tdnet/1891132/00.pdf>

<https://www.jakartashimbun.com/free/detail/53311.html>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌
「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■タイの発電会社 RATCH (ラート) グループ、ラオスの首都ビエンチャンに木質ペレットの製造・販売を手掛ける合弁会社「シーパンドン・ラート・ラオ」を設立したと発表(9月21日)。資本金は5億キープ(約560万円)。タイの製糖大手プリラム・シュガーの完全子会社でバイオマス発電を手掛けるプリラム・グリーン・エナジーが65%出資して筆頭株主となり、ラートのラオスの完全子会社ラート・ラオが25%、ラオスのシーパンドン・ボラベン・デベロップメントが10%出資する。来年3月にも年産能力6万tの木質ペレット工場の建設に着手する予定で、2022年第1四半期(1~3月)の出荷開始を目指す【NNA Asia：2020/09/23】

<https://www.nna.jp/news/show/2096886>

■長野県伊那市、太陽光発電や小水力発電など化石燃料に代わる再生可能エネルギーの普及によりCO₂削減を目指す「二酸化炭素排出抑制計画」(2016~25年度)の進捗状況をまとめ、公表。市内一般家庭のCO₂総排出量に対し、再生可能エネルギーの活用などによるCO₂抑制割合を25%まで高める目標について、19年度末で目標を上回る26%に到達。もう一つの柱である、薪ストーブやペレットボイラなど木質バイオマスによるCO₂抑制量を3倍にする目標についても20年度末で2.8倍に達し、まもなく目標を達成する見通し。市によると、19年度末の再生可能エネルギーなどによるCO₂抑制量は太陽光発電6,750t、省エネ家電6,079t、ペレット・薪ストーブ2,210t等計1万7,511tとなり、計画策定時から積み上げた抑制割合の総計は26%に。25年度には43%に達するという見込みも示した。市は今後、目標値を上方修正する方針【Nagano Nippo Web：2020/09/25】

<https://www.nagano-np.co.jp/articles/67736>

■イーレックス(株)(東京)、9月17日に「豊前バイオマス発電所」(福岡)向けの燃料国内輸送船「いぶき」の命名・引渡式を行い、無事竣工したと発表。豊前バイオマス発電所はイーレックスおよび九電みらいエナジー(株)(福岡)、(株)九電工(福岡)が出資し、2016年10月に設立した豊前ニューエナジー合同会社が運営する発電所。発電出力は74,950kW、年間発電量は約5億kWh(一般家庭約15万世帯分の年間消費電力に相当)。今年1月に営業運転を開始している。いぶきは外航船で輸送されたPKSや木質ペレットを同船に載せ替え、主に豊前バイオマス発電所に輸送する。いぶきはイーレックスとNSユニテッド海運(株)(東京)の子会社であるNSユニテッド内航海運(株)(東京)との輸送契約に基づき、NSユニテッド内航海運が発注し、本田重工業(株)(東京)が建造。船体の総トン数は749t、載貨重量は2,300t。比重の軽いバイオマス燃料を効率よく輸送することを目的に、従来型の同型船より艀内容積を約3割大きく設計。さらに軽量貨物に適した大容量グラブバケットによる効率的な荷役により、輸送コストの低減が可能に。船にクレーンとバラ貨物を掴むグラブバケットを搭載したガットクレーン付き輸送船であるため、荷役設備のない港湾においても荷役が可能となり、今後同社の安定した輸送手段の確保に繋がるとしている【イーレックス(株)：2020/09/30、日本海事新聞：2020/10/01、九電みらいエナジー(株)：2020/03/10】

<https://www.erec.co.jp/news/information/1251/>

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=261120>

<https://www.q-mirai.co.jp/news/archives/206>

■豊臣工業(株)(愛知)、新製品となるペレットストーブ「MIMOA」を発表。10月1日に(公財)日本デザイン振興会の「2020年グッドデザイン賞」を受賞し、同日に発売を開始した。和空間のゆとりを引き立てる鋳物製ペレットストーブ。暖房出力は

3.25kW～4.17kW。サイズは H842×W400×D490、重量は 103 kg。ボディカラーはブラック【(株)トヨトミ、豊臣工業(株)：2020/10/01】

<https://www.toyotomi.jp/news/information/mimoo%E3%81%8C2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%82%B0%E3%83%83%E3%83%89%E3%83%87%E3%82%B6%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%B3%9E%E3%82%92%E5%8F%97%E8%B3%9E%E8%87%B4%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F/>
<http://pellet.toyotomi.jp/>

■農水省および経産省、10月13日に「第3回林業・木質バイオマス発電の成長産業化に向けた研究会」を開催。8月27日に開催された第2回研究会において事務局側が提案した通り、これまで議論した内容をまとめた報告書(案)が提示され、それを基に議論。この時の意見を反映させたうえで取りまとめ、10月16日には報告書「木質バイオマスの供給元としての森林の持続可能性確保と木質バイオマス発電の発電事業としての自立化の両立に向けて」をプレスリリース。再生可能エネルギーとしての木質バイオマス利用の大前提となる「持続可能性」や、「コスト低減」、「安定供給」に係る視点に着目し、(1)森林資源の持続的活用(早生樹・広葉樹の活用を含む)、(2)木質バイオマス熱利用の推進、(3)木質バイオマス燃料の品質安定化、(4)木質バイオマス燃料の加工・流通・利用の在り方・実態把握、(5)既存の木材利用との競合に係る懸念払拭について、といった6つの論点についてまとめられている。特に(3)では「木質チップ・ペレットの品質安定化(水分率等)を含め、重量が主な取引単位となっている市場取引における課題を如何に解決すべきか」、(4)には「ライフサイクル GHG 排出量の抑制の観点から、チップ・ペレットの加工方法及び輸送距離の影響が大きいことを踏まえ、適正な木材の流通・利用範囲はどのように考えるべきか」といったペレットに関する論点が含まれている。(1)～(6)それぞれの論点に対する対応の方向性が示されており、両省はこの報告書を踏まえ、引き続き官民連携により施策を推進していくとしている【経産省：2020/10/13、林野庁：2020/10/16】

https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/biomass_hatsuden/003.html

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/201016.html>

■福岡県北九州市にある響灘エネルギーパーク合同会社(福岡)の「ひびき灘石炭・バイオマス発電所」で火災。10月13日午前5時半頃、同社より「(施設の)燃料を運ぶベルトコンベヤーが燃えている」と消防に通報があった。同社によると、出火当時発電所は稼働中だった。同日9時41分頃、消防による消火活動により鎮火。ケガ人および発電所構外への延焼はなかった。同発電所は2018年12月1日に運転開始。石炭に木質ペレットや木質チップを熱量比で約30%混焼しており、出力規模は112,000kW。年間予想発電量は、一般家庭約23万世帯分の年間消費電力量に相当する約8億1,600万kWh。オリックス(株)(東京)が小売電気事業者(新電力)として九州エリアをはじめとする各地の事業所に供給していた【西日本新聞、響灘エネルギーパーク合同会社：2020/10/13】

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/653795/>

<https://hibikinada.energy-park.jp/>

■富山県の南砺市市議会が10月14日、市が進める6事業について、議会側が効果や必要性を検証する「事業評価」に基づく提言書を初めて市に提出。最も厳しく評価したのは木質ペレット事業で、「見直しの上縮小」すべきとした【北日本新聞：2020/10/14】

<https://webun.jp/item/7702363>

■極東開発工業(株)(兵庫)が製造・販売する木質ペレットエア搬送ユニット「ジェットキューブ」と木質チップ乾燥コンテナシステム「カンテナ」が2020年度グッドデザイン賞をダブル受賞。ジェットキューブは2018年11月発売。木質ペレットの輸送および貯蔵用サイロへの搬送にはクレーンを用いての作業が行われることが多く危険な高所作業を伴うほか、非効率な点が課題であったため、同社が粉粒体運搬車(ジェットパック)で培ったエア搬送のノウハウを用いて開発。高性能なブロワによる搬送により、安定的かつ安全に木質ペレットを貯蔵用サイロに搬送することが可能に。カンテナは木質チップ乾燥と輸送・荷役に対応したコンテナ機能を持たせた製品。今回、ジェットキューブの「地上にいたままエアでサイロにペレットを搬送できるという画期的な点」や、「女性や高齢者でも安全・手軽に作業ができる汎用的なデザイン」等、およびカンテナの「排熱活用を前提としている点」や、「今後の再資源可能なエネルギーへの取り組みとして期待できる点」などが評価され、受賞に至った【OSR No.439：2020/10/14、極東開発工業(株)：

2020/10/05】

<http://www.kyokuto.com/ir/pdf/201005.pdf>

■(株)商船三井(東京)、グループ会社の(株)商船三井内航(東京)が、海田バイオマスパワー(株)(広島)向けに運航する内航専用船の命名・竣工式を9月29日に村上秀造船(株)(愛媛)で実施したと発表。命名した「海栄丸」は、海田バイオマスパワーの新発電所「海田発電所」のある海田町の「海」の字に、繁栄を願う「栄」を組み合わせたもの。同船は自動荷役装置(セルフアンローダー)を搭載する内航ばら積み船。燃料となるホワイトペレット、PKSおよび石炭を国内中継基地から海田発電所に向けて定常輸送する。同発電所の発電出力は11万2,000kWで全国トップクラスの規模。2018年12月から建設工事に着手。今年3月29日には内航船より受け入れた発電所のバイオマス燃料等を、燃料受入バースから燃料貯蔵設備まで自動運搬するための受入コンベアの設置が完了。9月末には設備の据付、設備単体の試運転を終えており、今後は総合試運転を行っていく。2021年3月営業運転開始予定【(株)商船三井:2020/10/14、海田バイオマスパワー(株):2020/10/20】

<https://www.mol.co.jp/pr/2020/20072.html>

[http://kaita-bp.co.jp/wp/wp-](http://kaita-bp.co.jp/wp/wp-content/uploads/2020/10/20201020_tayori6.pdf)

[content/uploads/2020/10/20201020_tayori6.pdf](http://kaita-bp.co.jp/wp/wp-content/uploads/2020/10/20201020_tayori6.pdf)

■遠野興産(株)(福島)、福島県いわき市遠野町に木材を砕いたチップを利活用する企業の紹介を通して地球温暖化防止に果たす森林や林業の役割を学ぶ「エコ・ウッド展示場」を開設。同社は、解体された建物の廃材や製材する過程で出た端材など

を加工し、木材チップや木質ペレットを製造している。その木材チップが燃料やさまざまな製品の原料に使われていることを知ってもらおうと、10月12日に展示場を開設した。展示場では、木材チップを工場の原動力としている日本製紙(株)勿来工場やいわき大王製紙(株)、木材チップを圧縮した板「パーティクルボード」を製造している永大小名浜(株)など、いわき市周辺の企業を紹介【福島民友新聞:2020/10/21】

[https://www.minyu-net.com/news/news/FM20201021-](https://www.minyu-net.com/news/news/FM20201021-548796.php)

[548796.php](https://www.minyu-net.com/news/news/FM20201021-548796.php)

■認定特定非営利活動法人 FoE Japan(東京)、10月1日に第2回バイオマスオンラインセミナー「木質ペレット生産の環境社会影響～アメリカの事例から学ぶ」を開催。FITによりバイオマス、木質ペレットなどを使ったバイオマス発電事業がここ数年で急激に増加。その多くは海外で生産された輸入燃料に頼っているが、生産地の森林生態系や気候変動に与える影響はどのようなものなのか。アメリカ南部で森林保全や気候変動の分野で活動するNGOスタッフや現地コミュニティのメンバーに話を聞き、木質ペレットの持続可能性について考える内容。セミナーは終了しているが、各スピーカーの資料は下記サイトより閲覧できるようになっている【認定特定非営利法人 FoE Japan:2020/10月】

<https://www.foejapan.org/forest/biofuel/2020.html>

※OSR:バイオマス・再可エネ等の専門情報誌
「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報(国内)

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎:木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■「創エネ・あかりパーク2020」実行委員会「創エネ・あかりパーク2020」

2020年10月30日(金)～11月3日(火)

上野恩賜公園噴水広場(東京都台東区)

<http://www.akaripark.com/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「令和2年度公開講演会『きのこを知る-微生物研究の最前線』」

2020年11月2日(月)

オンライン開催

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2020/20201015-01/index.html>

◎iedan「温暖祭 ペレットストーブ祭り」

2020年11月3日（火・祝）～8日（日）

iedan ショールーム（栃木県小山市）

<https://iedan.jp/news/iedan%e3%82%a4%e3%83%99%e3%83%b3%e3%83%88%e3%81%ae%e3%81%8a%e7%9f%a5%e3%82%89%e3%81%9b/>

◎CMT「11th Biomass Pellets Trade & Power 第11回バイオマス・ペレット会議～貿易と発電～」

2020年11月4日（水）～6日（金）

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V200501&>

■（株）森林再生システム「林業塾2020『地域の森林と向き合う。いま、市町村の森林に必要なこと。』」

2020年11月4日（水）～6日（金）

リモート（三重県速水林業と東京サイト2拠点中継）

<http://www.re-forest.com/project/ringyojyuku2020.html>

■NPO 法人環境会議所東北「みなおしてみませんか！工場施設の省エネ対策」

2020年11月5日（木）

宮城県庁舎13階環境生活部会議室（宮城県）

<https://www.kk-tohoku.or.jp/event2020/shoueneseminar2020>

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム、他「暖談の会2020」

2020年11月7日（土）

城山展望所（熊本県阿蘇市）

<https://kbiomass.org/2020/10/12/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/>

■宮城県「STOP 温暖化-地球温暖化対策普及啓発プロジェクト」

2020年11月7日（土）@南三陸さんさん商店街（宮城県本吉郡南三陸町）

2020年11月8日（日）@道の駅かくだ（宮城県角田市）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/keihatsuproject2-2020.html>

■（一社）日本サステイナブルコミュニティ協会勉強会的討論ウェビナー「第4回地域の可能性をエネルギーから考察する～バイオマス編～『林業×バイオマス』」

2020年11月10日（火）

ウェビナー

<https://www.jsc-a.or.jp/news/3298>

■バイオマスエキスポ事務局「バイオマスエキスポ2020」

2020年11月11日（水）～13日（金）

東京ビッグサイト青海展示棟（「アグロ・イノベーション2020」内、東京都江東区）

<https://www.biomassexpo.info/expo/>

■木質バイオマス利用研究会等「第20回（2020年）バイオマス部会・研究会 合同交流会

『バイオマスエネルギーの社会実装』

2020年11月13日（金）

オンライン開催（Zoom）

<http://www.sbu-kyoto.com/jointmeeting>

◎（一社）日本太陽エネルギー学会関西支部シンポジウム「バイオマスエネルギーの利用拡大と今後の展望」

2020年11月13日（金）

ZoomによるWebinar

<https://www.jses-solar.jp/event/24079.html>

■NPO 法人農都会議バイオマスWG「バイオマスアカデミー第5回 熱利用実践セミナー バイオマス熱利用のプロジェクトマネジメント～バイオマスの本格的な普及拡大のための具体的な方法について～」

2020年11月16日（月）

東京都港区内のカンファレンス会場を予定

<https://blog.canpan.info/bioenergy/>

■（株）新社会システム総合研究所「再エネ新時代における電力売買取引～FIP制度からコーポレートPPAまで～」

2020年11月19日（木）

SSKセミナールーム（東京都港区）※ライブ配信、アーカイブ配信も有

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_20460.html

■宮城県「持続可能な社会のための気候変動適応策シンポジウム」

2020 年 11 月 19 日（木）

エル・パーク仙台 5 階セミナーホール 1・2（宮城県仙台市）

※オンライン参加も有り

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/r2-tekiou-symposium.html>

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム、他「暖談の会 2020」

2020 年 11 月 21 日（土）

グリーンピア南阿蘇（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

<https://kbiomass.org/2020/10/12/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/>

■（公社）環境生活文化機構「2020 年度持続可能な社会づくり活動表彰式」

2020 年 11 月 24 日（火）

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第 190 回研究会「FSC 認証と FIT バイオマス発電燃料の持続可能性およびトレーサビリティ（仮題）」

2020 年 11 月 25 日（水）

ZOOM によるオンライン開催

<https://www.npobin.net/>

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム脱炭素セミナー「地域新電力・地域循環共生圏・SDGs とは？」

2020 年 11 月 26 日（木）

阿蘇市農村環境改善センター農事研修室（熊本県阿蘇市）

<https://kbiomass.org/2020/10/21/11%e6%9c%8826%e6%97%a5%e6%9c%a8%e8%84%b1%e7%82%ad%e7%b4%a0%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/>

■（一社）サステナブル経営推進機構、他「エコプロ 2020『持続可能な社会の実現に向けて』」

2020 年 11 月 26 日（木）～28 日（土）

東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）

<https://eco-pro.com/2020/>

■（公社）国土緑化推進機構、他「『森林からはじまるエコライフ展 2020』～森と木で拓く SDGs の提案～」

2020 年 11 月 26 日（木）～28 日（土）

東京ビッグサイト西ホール（東京都江東区）（エコプロ 2020 会場内）

https://eco-pro.com/eco2020/pdf/forest_exhibition_guidance_2020.pdf

■NPO 法人九州バイオマスフォーラム、他「暖談の会 2020」

2020 年 11 月 28 日（土）

グリーンピア南阿蘇（熊本県阿蘇郡南阿蘇村）

<https://kbiomass.org/2020/10/12/%e6%9a%96%e8%ab%87%e3%81%ae%e4%bc%9a%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/>

■林業経済学会 2020 年秋季大会

2020 年 12 月 1 日（火）～10 日（木）

WEB 上での開催

http://www.jfes.org/kenkyukai/JFES_2020_Fall/2020_fall.html

■（一社）省エネルギーセンター「第 45 回地球環境とエネルギーの調和展 ENEX2021」

2020 年 12 月 9 日（水）～11 日（金）

東京ビッグサイト南 1・2 ホール&会議棟（東京都江東区）

<https://www.low-cf.jp/east/>

■再生可能エネルギー協議会「第 15 回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」

2020 年 12 月 9 日（水）～11 日（金）

東京ビッグサイト南 1・2 ホール

<http://www.renewableenergy.jp/2020/index.html>

■（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「第 16 回バイオマス科学会議」

2021 年 1 月 20 日（水）～21 日（木）

オンライン開催

<https://www.jie.or.jp/publics/index/732/>

■（一財）新エネルギー財団「令和2年度『新エネ大賞』表彰式」

2021年1月26日（火）

日本記者クラブ（日本プレスセンタービル10階ホールABC）（東京都千代田区）

https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r02.html

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2021年3月3日（水）～5日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス（株）「2021 NEW 環境展」 「2021 地球温暖化防止展」

2021年3月17日（水）～19日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.nippo.co.jp/n-expo021/>

◎日本ペレットストーブ工業会「第2回 JAPAN PELLETSTOVE SHOW in Nagoya」／2021年度総会
2021年5月（予定）
愛知県名古屋市

◎12th Biomass Pellet Trade & Power Summit

2021年5月17日（月）～20日（木）

東京

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210501&>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会（ISAP2020）」

2021年5月23日（日）～28日（金）

つくば国際会議場（茨城県つくば市）

<https://isap2020-phycology.org/index.html>

■（公社）国土緑化推進機構、島根県「第71回全国植樹祭」

2021年5月30日（日）

大田市三瓶山北の原（島根県）

<https://www.syokujusai-shimane2020.jp/news/2020/08/71-71-330.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2021年9月29日（水）～10月1日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2022年3月2日（水）～4日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2022年9月28日（水）～30日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

2023年3月1日（水）～3日（金）

東京ビッグサイト（東京都江東区）

<https://www.bm-expo.jp/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

2023年9月27日（水）～29日（金）

インテックス大阪（大阪府大阪市）

<https://www.bm-expo.jp/>

4. イベント情報（海外）

■World Bio Markets 2020

2020 年 11 月 2 日（月）～4 日（水）

アムステルダム（オランダ）

https://www.worldbiomarkets.com/?utm_source=BioenergyInsight&utm_medium=affiliate&utm_campaign=mp_WBM20_BioenergyInsight_eventcalendar

■ECOMONDO The Green Technology EXPO

2020 年 11 月 3 日（火）～6 日（金）

リミニ（イタリア）

<https://en.ecomondo.com/>

■All Energy 2020

2020 年 11 月 4 日（水）～5 日（木）

グラスゴー（スコットランド）

<https://www.all-energy.co.uk/register>

■Future of Biogas Europe 2020

2020 年 11 月 11 日（水）～12 日（木）

ベルリン（ドイツ）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■2nd Global Biofuels

2020 年 11 月 17 日（火）～18 日（水）

バーチャル会議

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=V201126&>

■European Bioenergy Future 2020

2020 年 11 月 17 日（火）～19 日（木）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/159-european-bioenergy-future-ebf-2020.html>

■European Bioenergy Future (EBF)2020

2020 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）

バーチャル会議

<https://conference.bioenergyeurope.org/>

■European Biosolids & Organic Resources Conference

2020 年 11 月 24 日（火）～25 日（水）

オンライン

<http://european-biosolids.com/>

■POLLUTEC

2020 年 12 月 1 日（火）～4 日（金）

リヨン（フランス）

<https://www.pollutec.com/en/home/>

■Renewable Energy India 2020

2020 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）

ノイダ（インド）

<https://www.renewableenergyindiaexpo.com/>

■Fuels of The Future 2021

2021 年 1 月 18 日（月）～19 日（火）

ベルリン（ドイツ）

<https://www.fuels-of-the-future.com/>

◎Nordic Pellets Conference 2021

2021 年 1 月 27 日（水）～28 日（木）

ヴァールベリ（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/nordic-pellets-conference-2021/>

■POWERGEN INDIA

2021 年 1 月 27 日（水）～30 日（土）

バーチャル

<https://www.powergen-india.com/>

■6th Biomass Trade & Power Europe

2021 年 2 月 3 日（水）～4 日（木）

コペンハーゲン（デンマーク）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=210202&>

■Lignofuels 2021

2021 年 2 月 10 日（水）～11 日（木）

ヘルシンキ（フィンランド）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/lignocellulosic-fuel-conference-europe/>

◎European Pellet Conference 2021

2021 年 2 月 24 日（水）～25 日（木）

ヴェルス（オーストリア）

<https://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

■World Sustainable Energy Days 2021

2021 年 2 月 24 日（水）～26 日（金）

ヴェルス（オーストリア）

<https://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎International Biomass CONGRESS & EXPO

2021 年 3 月 23 日（火）～24 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php

◎13th Biofuels International Conference & Expo

2021 年 3 月 23 日（火）～24 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.biofuels-news.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php

■International Biogas Congress & Expo

2021 年 3 月 23 日（火）～24 日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php

■bio360

2021 年 3 月 24 日（水）～25 日（木）

ナント（フランス）

<https://www.bio-360.com/en/>

■ 7th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2020

2021 年 4 月 14 日（水）～15 日（木）

ヴァイマル（ドイツ）

<http://regatec.org/>

■The 12th PALMEX Indonesia 2021

2021 年 4 月 20 日（火）～22 日（木）

メダン（インドネシア）

<http://palmoilexpo.com/>

■Elmia Wood

2021 年 5 月 18 日（火）～21 日（金）

ヨンショーピン（スウェーデン）

<https://www.elmia.se/wood/>

■BBEST 2020

2021 年 5 月 24 日（月）～26 日（水）

サンパウロ（ブラジル）

<http://bbest-biofuture.org/v2/>

■RWM & Future Resource 2021

2021 年 9 月 22 日（水）～23 日（木）

バーミンガム（UK）

<https://www.rwmexhibition.com/>

■International Conference Progress in Biogas 2021

2021 年 9 月 22 日（水）～24 日（金）

シュトゥットガルト（ドイツ）

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

■16th International Conference BIOMASS for ENERGY

2021 年 9 月

キエフ（ウクライナ）

<https://uabioconf.org/en/>

■POWERGEN INDIA

2021 年 10 月 27 日（水）～29 日（金）

ニューデリー（インド）

<https://www.powergen-india.com/>

5. 公募等情報（締切順）

■福島県「令和2年度福島県地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業（設備導入事業）補助金（2次公募）」

応募期間 2020年10月19日（月）～11月2日（月）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/chiset02.html>

■福島県「福島県地域参入型再生可能エネルギー導入支援事業（再生可能エネルギー事業可能性調査補助事業）補助金（2次公募）」

応募期間 2020年10月19日（月）～11月2日（月）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/chisanfs02.html>

■栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2020年6月1日（月）～11月6日（金）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

■INA VALLEY FOREST COLLEGE 実行委員会「INA VALLEY FOREST COLLEGE」（2020年度）参加者募集

募集締切日 ～2020年11月17日（火）

https://greenz.jp/2020/10/28/ina_valley_forest_college/

■NEDO「バイオジェット燃料生産技術開発事業（技術動向調査）〔微細藻類技術によるバイオジェット燃料実用化に係る技術ロードマップの策定〕」（予告）

公募期間 2020年11月中旬～2020年11月下旬（予定）

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100307.html

■独立行政法人環境再生保全機構「2021年度地球環境基金助成金募集」

募集期間 2020年11月5日（木）～12月2日（水）

<https://www.erca.go.jp/jfge/>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和2年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集対象期間 2020年5月7日（木）～12月25日（金）

<http://www.eco-hyogo.jp/index.php/global-warming/tyuushou2020/>

■大阪府茨木市「省エネ・省CO2設備導入事業補助制度」

募集期間 2020年4月13日（月）～12月25日（金）

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/jigyousya/gomi/47154.html>

■奈良県「令和2年度事業所エネルギー効率の利用推進事業補助金」

募集期間 2020年5月19日（火）～12月28日（月）

<http://www.pref.nara.jp/33062.htm>

■神奈川県川崎市「市内事業者エコ化支援事業」

募集期間 ～2021年1月15日（金）

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000116071.html>

■埼玉県本庄市「本庄市事業所用エネルギーシステム導入事業補助金」

受付開始 2020年4月1日（水）※2021年2月26日（金）までに実績報告書が提出できるよう申請

http://www.city.honjo.lg.jp/business_sangyo/kigyoyuchi/1396333634935.html

■神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」

申請書提出期限 2021年2月26日（金）

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/incentivefee.html>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2020年4月1日（水）～2021年2月28日（日）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

■鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー発電事業支援補助金」

募集期間 2020年4月1日（水）～2021年2月28日（日）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/204033.htm>

■兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備導入費用を助成」

受付期間 2020年4月1日（水）～2021年3月16日（火）

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/shiminseikatsu/seikatsueisei/tantojoho/shinenerugi/1515747696234.html>

■京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)
<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/nintaiseidogaiyou.pdf>

■東京都「地産地消型再エネ増強プロジェクト」

申請受付期間 2020年8月3日(月)～2021年3月31日(水)
<https://www.tokyo-co2down.jp/company/subsidy/chisan-zokyo/index.html>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日(土)～2022年3月31日(木)
<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■静岡県富士市「令和2年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」

受付期間 2021年3月末
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sp/kurashi/c0903/rn2ola000000cn7d.html>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syoutene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■(公財)日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■横浜市「よこはまプラス資金(環境・エネルギー対策)」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金(制度全般事業認定)」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機
設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援につい
て（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>